

(仮称)新宿区自治基本条例区民検討会議 開催概要

第 6 回 平成20年11月10日開催 午後7時から午後8時45分 四谷地域センター集会室2・3

出席委員 別紙のとおり

学識経験者 牛山氏

検討連絡会議委員 小松委員、あざみ委員、野田委員、河原委員

事務局等 寺尾、徳永、武藤、中山、林、山岸、三浦

傍聴者 1名

配布資料 ・区民会議提言書 ~参画・協働~ (抜粋)

・ワークショップ各班キーワード一覧

・牛山教授講義録から 条例項目

・第6回ワークショップの進め方 ・第4回ワークショップ模造紙まとめ

・第5回区民検討会議開催概要

1 運営会世話人代表の選任について

運営会世話人代表として、運営会から高野委員が推薦され、意見交換が行われた。世話人や運営委員のあり方について意見が出され、11月10日の(区民検討会議終了後の)運営会で議論することとなった。【継続】

今回の区民検討会議に関しては、高野委員が世話人代表の役割を担うこととなった。【決定】

2 運営会からの報告等

高野委員から、第二回運営会で検討された以下の事項が報告された。【了承】

- ・ 運営会世話人に関しては、代表 1 人と副代表 2 人を選出する。副代表は公募委員から少なくとも 1 名、女性から少なくとも 1 名を選出する。
- ・ 班の再編成に関しては、運営委員を各班に割り振るとともに、男女比を考慮する。
- ・ 第6回区民検討会議でのワークショップの検討内容に関しては、引き続き「条例に盛り込むべき事項」について検討する。

会場の借用時間の関係で、今回の区民検討会議は遅くとも午後8時50分までに終了することとなった。【決定】

3 班の再編成

以下の原則のもとで班の再編成が行われた。新たな班の編成については別紙のとおり。【決定】

- ・ 前回までと同様に4班に分ける。
- ・ 運営委員を各班に3人ずつ割り振る。世話人代表である高野委員は1つの班の班員となるが、場合に応じて各班をまわり、随時フォローする。
- ・ 運営委員以外の委員に関しては、男女別でそれぞれくじ引きによる抽選を行い決定する。

4 ワークショップ ~ 条例に盛り込むべき事項 ~

再編成された4班に分かれて話し合い、キーワードを項目ごとに整理することで、条例に盛り込むべき事項の洗い出しを行った。

5 グループ発表と牛山教授コメント

ワークショップについて各班の意見を発表した。各班の発表内容は別紙のとおり。
発表に関して、牛山教授からコメントがあった。コメントの内容は別紙のとおり。

6 次回の検討内容確認等

区議会からの意見交換の提案に関しては、意見交換のあり方等について今後運営会で話し合うこととなった。話し合いの内容は別紙のとおり。【継続】

以上

第6回 委員出席簿 凡例: 出席、× 欠席

番号	氏名	フリガナ	6回会議	班
1	高野 健	タカノ ケン		3
2	津吹 一晴	ツブキ カズハル	×	未定
3	黒川 孔晴	クロカワ ヨシハル		4
4	野尻 信江	ノジリ ノブエ		4
5	大浦 正夫	オオウラ マサオ	×	未定
6	古澤 謙次	フルサワ ケンジ	×	未定
7	和田 博文	ワダ ヒロブミ		3
8	平岡 徹	ヒラオカ トオル		1
9	安田 明雄	ヤスダ アキオ		2
10	城 克	ジョウ マサル		4
11	斉藤 博	サイトウ ヒロシ	×	未定
12	森山 富夫	モリヤマ トミオ		4
13	吉川 信一	ヨシカワ シンイチ		1
14	樋口 蓉子	ヒグチ ヨウコ		3
15	来栖 幹雄	クルス ミキオ		4
16	荻野 善昭	オギノ ヨシアキ	×	未定
17	徳永 久子	トクナガ ヒサコ		4
18	小林 辰男	コバヤシ タツオ		2
19	竹内 妙子	タケウチ タエコ		2
20	水谷 元啓	ミズタニ ユキヒロ	×	未定
21	喜治 賢次	キジ ケンジ		2
22	清田 英雄	キヨタ ヒデオ		3
23	河村 寛二	カワムラ カンジ		2
24	大友 敏郎	オオトモ トシロウ		2
25	田中 尚典	タナカ ナオナリ		1
26	渡辺 翠	ワタナベ ミドリ		2
27	井上 愛美	イノウエ アイミ		1
28	植木 康雄	ウエキ ヤスオ		1
29	今井 茂子	イマイ シゲコ		1
30	中村 国敬	ナカムラ クニヒロ		4
31	土屋 慶子	ツチヤ ケイコ		3
32	三木 由希子	ミキ ユキコ		1
参加者			26	

ワークショップについて

ファシリテーター では、始めます。資料4の『ワークショップの進め方』をご覧ください。前回誤解もある部分もありましたので、もう一度改めてやってみたいと思います。

ワークショップの目的ですが、キーワードを項目ごとに整理して、条例に盛り込むべき事項の洗い出しをします。この項目が条例に盛り込むべき事項を検討する土台にはなりますが、それで決定にはなりません。今日は大枠を決めます。その後、「足りているかどうか」など考えていきたいので、たたき台をみなさんに作っていただきたいと思います。

作業手順ですが、各班で簡単に自己紹介をし、皆さんがなされた自宅作業の項目分けをグループ内で発表してもらいます。その発表が終わりましたら、各班にある模造紙2枚の、予め書いてあるそれぞれの項目に当てはまるキーワードのカードを貼って下さい。模造紙には牛山教授が出した項目が書いてあります。また、前回、お話にあげりました『前文』欄を、項目として設けました。『前文』と『条例の基本的考え方』に違いがあるのか、といった疑問もあるでしょうが、『前文』も色々な考え方があると思いますので、それもグループの中で、共有しながら話し合っていたきたい。それらが、これから考えていく土台となりますし、グループ発表時にみなさんと共有していただければ良いと思います。また、第3回・第4回のワークショップで挙げたキーワードのカードをスプレー糊で処理し、貼ったりはがしたりできるようにしてありますので、みなさんで「ここにしよう」などと相談し、共有してもらいたいです。最後の項目に『その他』欄があります。他の項目に当てはまらなかったものを貼る欄として設けました。まずは共有できるものから貼っていき、「問題だね」「足りないね」というものは、『その他』に入れて下さい。そして、最後にもう一度『その他』を見直して下さい。

次に、資料4の整理の留意点の「そのキーワードがいずれかの項目に当てはまるかどうか」を考えていただきます。キーワードの文言がそのままでは当てはまらないが、その言葉の趣旨、つまり、なぜその言葉になったのかを考えたり、言い換えたりすれば、また他の項目に当てはまるかもしれない、といったことも考えていただきたい。それらの趣旨を掘り下げただくために、第4回の模造紙のまとめをした資料があるので、これを参考にして下さい。「この言葉はこういう意味だったのね」ということを考えて、「こういう言葉にしたら、項目に入るかもしれない」「どういう解釈でこういう言葉にしたのか」ということは大事なことです。みなさんで共有して下さい。どうしても入らないものは無理をせずに『その他』に置いたままで構いません。『その他』欄にあるものでもう1つ項目を立てられるかもしれないといった場合には、項目を書いて、欄を設けて整理して下さい。

ポストイットとA4用紙を準備しています。「覚えておきたいもの」などありましたら、メモとして使用して下さい。何か質問ありますか。

委員 そもそもこのラベル(キーワードのカード)自身はまっとうなものではなく、色々抜け落ちていくと思うが、書き足せばよいのか。『その他』に入れればよいですか。

ファシリテーター まず『その他』に入れて下さい。先に共有できるものから進めて下さい。これで決定ではありません。これをたたき台として、揉んでいくという作業をしていきたいと思います。こ

れで決定と思わず柔軟に作業をして下さい。

委員 今、36個(のキーワードのカード)あります。一つのカードが二つの項目にダブってしまう場合はどうするのですか。

ファシリテーター ポストイットを使用して下さい。何故そうしたのかが、後から見てわかるように、記録として残していただきたいです。

委員 質問が2つあります。これは牛山教授が立てた項目ですが、牛山教授の意見を主軸にしてやる、とファシリテーターさんが考えてこうなったのですか。

ファシリテーター 牛山教授はアドバイザーとしていらっしゃっているので、ある程度他の学説などを参考にして、たたき台として作業しないとまとまらないと思っています。牛山教授からご提案いただいた項目がありますし、もちろん牛山教授も「これで完璧だ」と言っているのではなく、「まずこれでやってみよう、整理してみよう」とした、とっかかりとして位置づけています。

委員 本当は項目を作るときは、運営会やみなさんの意見を言って、項目を作るのではないか。もう一つ質問です。これをやって、いくつか項目が出てくるという仮定はどこからくるのか。最終的に項目ごとに部会制になっていき毎回10個ほど項目が出てくると思うのだが、それを毎回やっては間に合わないし、これから新しい項目あげはどうするのか。

ファシリテーター 新しい項目についてはこれからみなさんで作業をしていただかないとわかりません。しかし、この後、どうなっていくのかは私や行政の方が決めるのではなく、みなさんの意見をどんどん反映して行って、みなさんで作って行っていただきたいです。そこは、牛山教授や私や行政の意見は入っていないです。

委員 私の意見は、本題に入りたいということです。今回は5回目ですし、ある程度項目を決めて、作業しながら「ここはおかしいですよ」と分科会などを作って解決しながら、やっていくのが良いのではないか。項目はまだ出ないのは困りモンです。

ファシリテーター 是非、項目が出るようみなさんで意見を戦わせて下さい。申し訳ないですが、時間が余りありません。8時15分までの30分間で作業を行って下さい。よろしくお願いします。

(ワークショップ開始)

ワークショップのグループ発表

ファシリテーター 各班3分で発表をお願いいたします。本日はタイムキーパーがいますので、1分前になりましたら、お知らせします。

1班発表 抜けているものをポイントに説明したい。

ひとつめは定義についてです。住民、区民、事業者、区、みんな違い、利害関係が対立しますので、定義の項目が必要だと思う。

もうひとつは、条例制定後の進行管理の委員会を作るという話もあったので、自治を推進する委員会というものを作り、条例制定後の分業や評価や原理、というようなものを設けたい。この項目はラベルに一つも入っていませんでした。

『前文』の方と『その他』の方に入らないものがありますが、『前文』の方は新宿らしい特徴を入れることになる。『その他』の方は、ソフト的なもの。例えば、“教育”“環境”そういったものを扱うものをどうするか、という条項を作りたい。

後は、皆さんが挙げたものと大きく変わらないと思いますが、一つは私たち住民にとって大事なことは、『地域の基盤をどうするのか』、ここに色々なものが入ってくる。“コミュニティ”“地区協議会”とか様々なものが入ってくるので、大きな条項になるのではないかと(～)『役割』分担に関するものは、皆さんと大きく変わらないのではないかと。

2班発表 条規ものは外して考えました。

『前文』は、“新宿発”“国際化”“区民の気持ち”“文化伝統”“歴史と文化”“未来の明るい提案”“中心”“位置・地域性”“高齢者がいなくなったあと”に、基盤となる長期的展望が必要であると前文に盛り込みたい。

『条例の基本的考え方』は、“区への要望”“自治”“住みやすいまち”“情報”“行政のあり方”“自治の基本理念”“高齢者・子ども”“住民自治と団体自治”。

『住民(区民)の役割』は、“よそ者”…住民の定義が必要であり、議論を深めていかなければならない。

『行政の役割』は、“行政のありかた”

『行政運営と住民参加の仕組み』には、新しい提案として「協治」を入れたい。これは、よく考えて、みんなでコンセンサスを求めなければならないだろう。

『住民の合意形成』は、“コミュニティ”“区民の気持ち”と共に「男女共同参画」も憲法にも書いてあり重要ではないかと思い、新しい提案をしました。

『外国人と暮らし方の多様性』…かなり色々考えなければならないだろう。

『安心安全』…新宿ではとても重要ではないかと思う。

『税制』…“自治の基本”であり、税制については、しっかり盛り込んだ方が良いという意見が出た。

『条例制定後に進行管理する委員会』…“地域の特性”を考えた基本条例になれば良いと思う。

3班発表 何でもかんでも当てはまりそうなものは、たくさん入れてみようと思っただ。考え方を広

い意味にすると、重なる部分も多く、どんどん入った。議会に対しての要望が強かった。

『議会』には、“区民と区と議会の役割と責任”“未来の明るい提案”…明るい未来のために議会にがんばって欲しい。区民の声を届けて欲しい、問題点を解決して欲しい、ということ、他の班に比べて、議会に関しては多く入った。

『条例の位置づけ』に、“最高規範”であると謳われては良いのではないかと入れた。

あとは、他の班とだいたい同じなので、あとでゆっくり見てください。

4班発表 4班では『前文』がありませんが、それを『条例の基本的考え方』で表している。その中で、“住民・区民”“コミュニティ”“地方公共団体としての位置づけ”“自治基本理念”も必要です。“住民自治と団体自治”“市民参加”も入っています。“安心安全”“多様性”“外国人との共生”も新宿らしさになるので盛り込みたい。“文化”“歴史と文化”も基本的な考え方になると思う。“教育”もそうです。“働きやすいまち”“住みやすいまち”は将来的にこのような街にしたいということで入れたいと思う。「直接民主主義」「住民投票制」も盛り込まなければならない。“情報”についてもそうですね。『住民の役割』、『行政の役割』、『議会』もあるが、特に『住民の役割』では“住みやすいまちづくり”“働きやすいまちづくり”ということになる。全てに将来的なまちづくりが入っていきます。

『条例の位置づけ』に、“住民自治と団体自治”…条例の基本的考え方に入と思う。

『住民の合意形成』…住みやすい、働きやすいが重要となるので、住民の合意形成が必要だと思う。“区への要望”もそうです。

『外国人』…日本の企業でも労働力として重要性を帯びてきている。行政はしっかりと考えなければならないと思う。

『その他』…“よそ者”という言葉は使いたくない。「男女共同参画」や「人権」これらは是非実現したいと思い、『その他』に加えた。

牛山教授 発表へのコメント

前回の作業の流れで、今回のグループ発表が行われました。

一つは、前回までに盛り込むべき内容について大きなテーマ別の固まりのようなものを出していたものに、今日はそれに具体的な中身を貼り付け、どのような配置になるのかを考える作業でした。大きな枠組みが決まってきて、前回「早く全体像を見たい」といった意見もあったが、章立てまではいかないものの、盛り込むべき内容が形になってきている。既にみなさんから出していただいたキーワードや私がお話しの中から出していただいたテーマ、もちろん私が掲示したものは例示であり欠けていた部分もあったでしょうが、こうして全体像を並べてみますと、かなり充実してきたと思います。また、ある班で「協治」という言葉が出ていました。いわゆるガバナンスですね。これはおもしろいテーマだと思いました。“コミュニティ” “合意形成”など今まで出てきた部分と重なるものもありますが、新しい情報や言葉、違った視点、例えば、“ガバナンス”や“男女共同参画”といったものを出していただいているので、もう一度4枚のこの模造紙を一通り整理していくと、皆さんが考えている中身がかなり整理されてくるのではないかと感じた。

今後、運営会で、これらの問題をどう扱っていくのか議論していくのだろうし、この会議でもみなさんの意見をまとめていただきたい。みなさんのいろんな思い、具体的な盛り込むべき内容、例えば“ガバナンス”は今、大きな課題となっていますが、実際に盛り込んでいる自治体は少なく、おもしろいと思う。今後、各項目の出てきたものを運営会やファシリテーターの方で整理していくのでしょう。次に、大きな固まりとそこに込められていく具体的なイメージ、それがみなさんの思いとして結実していくような方向性として見えてくるのではないかと。もう一度、運営会とファシリテーターでこの議論をまとめ、もちろん、全体会でもたいて「これでいいのか」「更に加えた方がいいか」こんな形で、最初は漠然として「合意形成がどんな風に見えるかな」と思っていた部分が、まとまっていくかなという印象を受けた。もちろん、これから議論をフィードバックしたり、行ったり来たりしながら、条文を具体的に検討していくことになってくるのではないかとと思う。

次回の日程・検討内容の確認

ファシリテーター ありがとうございます。では、次回の日程などの連絡、高野さん、お願いします。

高野委員 では、ワークショップはこれで終わりです。次回の日程は11月27日の第4木曜日です。場所は区役所の大会議室です。時間は19時からです。

前回の運営会で話があったのですが、議会の方から、みなさんと意見交換をしたいという話がありました。これから、どういう形でやるかは運営会で案を練り、それからみなさんにも諮りたいと思っています。議会の意見交換をやりたいという要望に対して皆さんはどうお思いでしょうか。

(少々の拍手)

委員 やはり、こちらの意見がある程度まとまってからの方が良いのではないかと。項目などが立ってからはないと、こちらのお伺いになってしまうのではないかと。こちらが、堂々と出せるようなものを作ってからやるのならば良いけど、今の段階ではどうであろうか。また、意見を取り入れられたら何のために区民委員は意見がまとまらない中でやっているのか。やるなら、先にお願いしたい。

高野委員 わかりました。もう少し前向きに考えると、もしかしたら、もやもやしている部分を聞きたいのかもしれない。ただ、「やりませんか」ということしか聞いていないので。

(「私は賛成です」「私はすぐには反対です」という声があがる)

高野委員 この後、運営会をやりますのでそこで議論します。そこで、どういった形でやるのか決めるということで良いですか。

(拍手)

高野委員 運営会の仕事で、今後の課題やワークショップについてこれからどうするのか検討していきます。うまいやり方で、異論反論もあるのですが、みなさんでまとめて、やっていきたいと思えます。

今、みなさんで「こういったやり方がよい」という意見があったら言ってもらいたい。

委員 良いやり方があるのなら、レポートで事務局に提出するのはどうか。それを、事務局で集めて、事務局から運営会に諮るのが良いのではないかと。そうでないと、運営会をやっている意味がないのではないかと。

高野委員 そういった意見もありますが、どうですか。

委員 良いやり方があるなら、ぜひ事務局へ連絡してもらっても良いのではないかと。

ファシリテーター もちろん運営会にみなさん委ねていらっしゃるのですが、「次回、こんなことやりたいな」など運営会に何か反映させてほしいことがありましたら、できるかぎり運営会のみなさんもそういう意見を反映させていければ良いのではないかと。運営にたずさわれない、という訳ではないので、ここで皆さんに何かご意見があったら、是非聞いておきたいと思えます。

高野委員 こういったことから各班に運営委員を何名か入っているの、そこに皆さんの意見をぶ

つけていただくということで、一つやってみましょう。それで、うまくいかなかったら、またみなさんでやり方を考えましょう。それでよろしいでしょうか。

(拍手)

高野委員 では、みなさん。次回はかなりうまくできると思いますので、どうもありがとうございました。

(閉会)